

平成28年度 総会・講演会

会長職を受けて

会長 米澤正治



土屋宣様が平成28年6月をもって会長を退任され、7月から大役を引き受けることになりました。

6月7日、新見公立大学術交流センターで平成28年度の総会を開催しました。総会に先立ち、アメリカ・ネバダ州出身で市内勤務ALITのアンジェラ・ジョージさんを講師にお迎えし、「My Experience in Japan」(私の日本での経験)と題して講演会を開催し、協会会員や市民など30名が聴講しました。アンジェラさんの感じた日本とアメリカの文化の違いを楽しく紹介し、笑いあふれるひとときとなりました。

引き続き行った総会では、平成28年度の事業計画等が原案のとおり承認され、役員改選では、長きにわたり会長職を務められた土屋宣氏が会長を退任、7月1日より米澤正治氏が会長に就任することが承認されました。(事務局)



訪日団を迎えました。今年の新見市から訪問する年になりそうです。この国際交流協会の目的は、規約第1条に「新見市と友好都市協定又は姉妹都市協定を結んでいる外国都市との交流を促進するとともに、諸外国との相互理解と友好親善に寄与し、また国際交流を通じて国際感覚に優れた人材の育成を図る。」と記されています。今年、アメリカではトランプ新政権が発足し、世界中がその一挙手一投足に眼を注ぎ、話題を呼んでいます。今こそグローバルな見方が大切だと感じています。協会発展のため、今後の交流活動に多くの皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

故石垣正夫前名誉会長を偲んで

編集後記

「故石垣正夫前新見市長お別れの会」が2月11日にありました。誠につらく悲しい出来事でした。石垣前市長はこの国際交流協会では名誉会長でした。私も会長に就任して以来十年余り一緒させていただききました。平成19年5月、カナダのシドニーへの訪問は忘れも

また、ブッチャート・ガーデンは迫力満点で、桜の花の素晴らしさ、ハンカチの木の間際は見事でした。次のシドニーへの訪問は、平成20年6月に6日間の日程で、前市長を団長に4名でした。ドン・エイモス市長と厳粛に姉妹都市調印セレモニーを行いました。前市長は教育のためにも成果を残されてお

り、シドニーからテリー・パッテンさんが平成25年から2年間ALITとして新見市の中学校で勤務されました。「石垣さん。私は去ります。でもみんな元気で頑張っています。安心してください。国際交流協会は大丈夫です。」

「ゆつくり、休んでください。」「さようなら……。」(土屋 宣)



8名の者が一緒にしたのですが、前市長は終始にこやかに対応され、大変な好印象でありました。

私たちは自分の住んでいる地域の良さを知る機会は少ないのではないかと思います。しかし、外国や他県から来られた人と話しをしてみると、自分たちがふだん気がつかないような良さを話してくれることがあります。かつてイギリスから来られたALITに新見市について聞いてみると、山あり川あり、そして狭い畑や田んぼがあちこちにあって素晴らしい風景ですと答えました。さらに北海道から来られた女性は、草間の道は上がったり下がったり、右に左に曲がり変化に富んでいて楽しい。また、桃やピオーネなどを直に見られるのも夢のようですと言っていました。

外国や他の地域の人たちと出会い、親しく交流することは、自分の地域の良さを見つめ直し、それを誇りに思う機会になると気がつきました。

広報委員長 妹尾良和



NIIMI

国際交流だより Vol.10

発行：新見市国際交流協会 広報委員会
岡山県新見市新見310-3 〒718-8501
TEL0867-72-6204 FAX 0867-72-3602
2017年3月発行

リチャード・キャタビアーニ先生を囲む会

新見公立大学・新見公立短期大学のアメリカ研修旅行では、姉妹都市ニューヨーク州立大学ウルシ、ニューヨーク州立大学ウルスター校で研修をします。大学で受け入れ役をしていただいているのが、リチャード・キャタビアーニ先生です。

語を教え、ジョン・スタインベックが大好きで、名字の意味が似ていて「キャタビアーニ」とはイタリア語で「山の中」という意味、父親になった年齢も同じという共通点が多く、親近感を持ちながら、協力体制を築いています。昨年春開催の日本ジョン・スタインベック学会の基調講演者としてリチャード先生を招聘



した際、新見にも来ていただききました。5月31日、公文学長との懇談、私の講義への特別ゲストとしての参加を終え、放課後第282回新見英語サロンにゲストとし



てお招きしました。先生は、コミュニケーションは人と人との橋渡しであるとし、全員に紙を配布し、氏名、得意なこと、信念・信条・主義5年後の自分を絵で表すよう指示しました。その紙を使つてのコミュニケーションを実践し、和気あいあいとした雰囲気の中で、質疑応答では、参加者のさまざまな質問に対して先生が答える機会になりました。学生や市民、計35名が参加しました。(アメリカ班班長 山内 圭)



デイブ・カツカモ会長来新



されました。11月1日には、新見市国際交流協会の英語講座にハロウインのオレンジ色の帽子をかぶって特別参加してくれ、受講者の英語練習の相手などをしてきました。また、11月2日には、ニューヨークを訪問した際、デイブさんにいろいろな形でお世話になった市民および学生が中心に集まり、本協会の米澤会長も参加のもと、デイブさんを囲む会を開き、楽しいひと時を過ごしました。(アメリカ班班長 山内 圭)



2016.9.10~9.20 新見公立大学・短期大学 アメリカ研修旅行

私はアメリカに行く前は、楽しみよりも不安のほうが大きかったです。でも、姉妹都市ニューヨークのホームステイは本当にあつという間で、充実した時間を過ごすことができました。お土産の交換、お互いの家族の紹介、新見や地元を宣伝しました。ホストファミリーと買い物にも行きました。やはり写真など見せるものがあると、コミュニケーションの幅が広がると感じました。私がアメリカで見たこと、聞いたこと、学んだこ



と、感じたこと全てを、決して無駄にすることなく、これからの人生に役立てていきたいと思っています。(新見公立大学 織部真帆)

今回の英語講座は、テキスト(Read Well, Write Better)を使って行われました。自宅で予習をして、分からないところは当日質問する、という勉強法です。学生時代に戻ったように、勉強することの楽しさを味わいました。トピックは、新しい知識が得られ興味深い内容でした。毎回、各章にちなんだフリートークを少人数に分かれて行いました。ALITの方々とチーム・テイラーさんと受講者で大変盛り上がりました。山内先生が、さまざまな情報を付け加えてくださるので、話がより深く理解できま

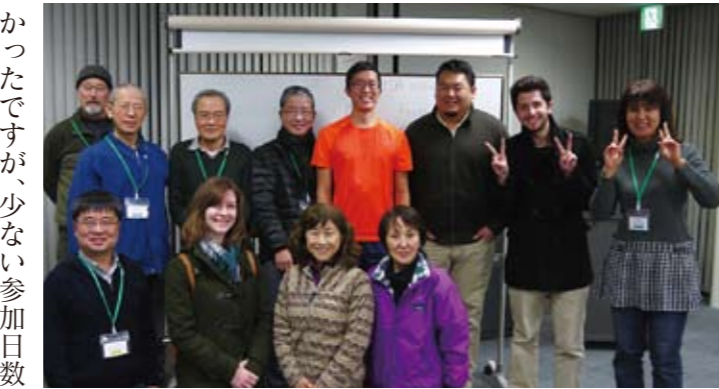


かったのですが、少ない参加人数の中でも多くのことを学ばせていただきました。今年の英語講座は昨年とは異なり、テキストを使い予習をして疑問点を質問するという反転授業という形式で行われていました。このやり方のおかげで、ALITの方に質問ができたりして自分の英語力を確認し、向上を図ることができたと感じています。来年度も機会があれば参加し、さまざまな方と英語を通して交流を深めていきたいと思っています。企画をしてくださった先生、職員の皆さんそして参加された皆さんありがとうございました。(長岡高之)

10月から12月にかけて新見公立大学の学術交流センターで、講師に当協会役員の新見公立大学・山内 圭教授を迎えて、市内の小中学校で勤務するALITの補助のもと、英語講座を計10回開催しました。協会会員や学生など12名が受講し、楽しく英語に触れました。受講者の赤木さんと長岡さん、ALITのエイドリアンさんの感想を紹介します。



英語で自分の考えを相手に伝え、また相手の気持ちがこちらにも伝わることは、「なんて素晴らしいことなんだろう」といつも思います。国は違っても、心と心が繋がります。温かい気持ちになります。この講座に参加するたびに、外国を身近に感じます。「心からありがとう、英語講座!!」(赤木千都子)



新見公立大学での英語講座は英語や異文化に興味をもっている新見の人たちが出会えるステキな場所です。みなさんと過ごす英語講座はとても居心地がよいです。雰囲気はカジュアルで親しみやすく、いろいろな人がいます。楽しく魅力ある会話が自由にできます。英語講座では、ネイティブスピーカーの国々について容易に学ぶことができますよ。



今回は、テキストを使って会話をしました。その本は、とても役に立ちましたし、新見には馴染みのない国についての話をしたりしました。笑ったり、興味を深めたりと楽しい時間を過ごしました。また秋が来ると、英語講座のことを楽しく思い出しましょう。ありがとうございました。

エイドリアン・リダー

The English Salon at Niimi College is a wonderful place to meet people around Niimi who love English and connecting with other cultures. I have become very comfortable with the people at the English Salon. The environment is so casual, friendly and diverse. It welcomes interesting and engaging conversations. At the English Salon we can easily learn about native English speakers' countries.

This was the first year that we used a book to guide our conversations. It worked very well! With the book, we also talked about other countries not represented in Niimi.

I enjoyed sharing laughter and interests. I will happily remember English Salon when autumn comes!

Thank you!
Adrienne Ridder



中国語講座を受講して
昨年10月6日から毎週木曜日、午後6時半から1時間半、山村開発センターと朋友館で計10回の講座をすべて受講しました。講師は吉備国際大学の尹維婕さん(女性)。流暢な日本語で丁寧に指導されました。単語に発音記号を付けてもらい、先生の発音を何度も繰り返し真似、会話文では発音を確認しながら対話練習しました。両国の文化の違いなどが理解できて、毎回充実した時間を楽しく終えることができました。最後の講座は国際交流協会会員とALITが参加、中国料理を3品作って会食し、日中の友好と国際交流を深めました。次年度も是非開催を期待しています。(福意昭教)

「中国語講座」便圆满的结束了，对于我来说这是第一次，教外国人我的母语。这是一次很棒的教学体验，刚开始的时候，觉得教汉语是一件很简单的事情，因为中国和日本语言相通点比较多，但是真正的走上教学岗位，才发现远远没有自己想象的那么简单。对外汉语教学是多层次、多角度的话题，是一个很漫长的过程，欲速则不达。中国语讲座时间虽然很短，但是和大家在一起的日子里我过得很开心。我在教他们学习中文，帮助他们了解中国文化的同时，更加完善了自己的日语语言表达能力并更多的了解到日本的文化民俗。中国文化博大精深，中国的汉字也有着几千年的传承。怎么样教好汉语，尤其是教好外国人汉语，真的是一门教与学的艺术。对于这门教与学的艺术，我还需要不断的积累和完善。中国有一句古话“路漫漫其修远兮，吾将上下而求索”在今后的日子里，希望大家能一直热爱学习，互进互助，我也将不断充实自己，学习和了解各国文化。



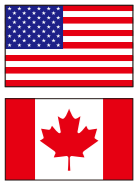
時の経つのは本当に早いです。3カ月の「中国語講座」が無事に終わりました。外国人に私の母国語を教えるのは初めてのことでした。これはとても素晴らしい体験でした。最初は、中国語を教えることはとても簡単なことだと思いましたが、実際に授業をすると、これは自分の想像のように簡単なことではないとわかりました。外国人向け中国語教育は多段階で、多方面にわたるトピックがあり、とても長い過程です。急がば回れです。中国語講座の時間はとても短かったですが、皆さんと一緒にいた時間はとても楽しいものでした。皆さんに中国語を教え、中国文化を理解してもらおうと同時に、自分の日本語能力をもっと向上させ、日本の文化や習慣をさらに理解しました。中国文化は広くて深いです。中国の漢字は何千年と受け継がれてきました。どのように中国語を教えるか、特に外国人に中国語を教えることは本当に教育と学習の芸術です。この教育と学習の芸術について、私は絶えず知識や経験を積み重ね完璧にしなければなりません。中国では「路(みち)は曼曼(まんまん)として其(そ)れ修遠(しゅうえん)なり。吾(われ)将(まさ)に上下(じょうげ)して求索(きゆうさく)せん」という古い言葉があります。今後、皆さんがずっと熱心に勉強され、お互いに助け合いができること願っています。私も自分自身をより豊かにするため、各国の文化を勉強し理解してまいります。講師：尹 維婕(イン イショウ)



中国料理交流会に参加して
12月15日、新見市保健福祉センター調理室で、中国料理交流会が開催され、高梁市の吉備国際大学から尹維婕さん、張静雯さん、李脩權さん、胡希さん、葉平さんが先生として来てくださいました。私の班では、先生が慣れた手つきで、手際よく作業をすすめられていました。今年のメニューは、鶏肉とカシューナッツ炒め、手羽先のスープ、そして馴染みの瀧田中国班班長が丹精込めて作られた艶やかなご飯でした。料理については、私には馴染みのないものばかりで、作っ

ている途中から出来上がりがとても楽しみでした。そして、ついに料理が完成し(私はスープの味見のみを担当しました)、初めての料理に舌鼓をうちました。鶏肉とカシューナッツ炒めはピリッと辛くて香ばしく、手羽先は柔らかくてほじょい甘みがあり、スープは鶏ガラの出汁がきいた上品な味付けでした。その他にも、先生の故郷である中国湖北省武漢市の家庭料理や美しい風景などをスライドで紹介していただきました。とても充実した時間を過ごすことができました。(川本了心)





ビデオ交流

新見市が制作した「イングリッシュパラダイス レッツ エクスプロア にいみ!」のビデオ2編に事務局で英語字幕を付けて姉妹都市のシドニーとニューパルツに送りました。このビデオは、市のALTがメインパーソナリティを務める全編英語の番組です。今回はジャック・チャンピオン先生、マシュー・パイク先生、アンジェラ・ジョージ先生が出演して、市内の林業や石灰鉱山をレポートします。(YouTube「新見市公式チャンネル」でご覧いただけます。)

ジャックとアンジェラもびっくり! 新見の石灰鉱山

ジャック先生とアンジェラ先生が、石灰石鉱業について学ぶため、新見市足立地区にある石灰鉱山を訪れます。足



立石灰工業株式会社の皆さんにご協力いただき、採掘や製造現場を見学し、採掘現場で使用する重機に乗る体験や、生石灰から消石灰になる実験などを行います。また、昔は製造工場の敷地内の専用側線からD51蒸気機関車といった鉄道による石灰製品の出荷を行っていたという歴史も知ります。



ジャックとマットの 林業体験

ジャック先生とマット先生が、地域の森を守るさまざまな活動をしている一般社団法人「人杜守(ひともり)」の皆さんにご協力いただき、



新見市神郷の山中で林業の間伐作業を体験します。実際にチェーンソーを使用して作業をしてみると、チェーンソーの扱い方の難しさや想像以上に力がある作業だと実感します。間伐作業の後は、人杜守の皆さんと一緒にアマゴの串焼きをいただきます。このアマゴは新見市神郷で養殖されたもので、森を維持することにより、きれいな水ができて、おいしいアマゴが生育されていることを知ります。森を守ることが林業だけでなく、漁業、農業にも関連していることを学びます。



ALT交流会



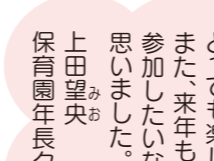
1月20日、新見市保健福祉センターで新年会を兼ねたALT交流会が開催されました。激しい雪に加えて雷の悪天候のなか、ALTや小学生をはじめ35名が集まりました。新見の小学生はALTとの会話に慣れていてパーティ開始前から英語で自然に話をしていく姿がとても印象的でした。交流会では、ALTの皆さんから英語で自己紹介、母国のこと、日本に来てからのことなどお話をいただき、山内アメリカ班班長に翻訳していただきました。ビンゴゲームでは千屋牛やにのみ源流米などの豪華賞品をはじめ、参加賞があり、楽しいひと時となりました。(俄 恵子)



私は、外国の人たちと一緒に交流して、パーティーをすることはめったにないので、とても楽しめるパーティーだなぁと思いました。それと、国の紹介があり、外国の事を子ども達が、たくさん学べるので、いろんな国の事が分かって、楽しかったです。クイズやビンゴゲームも、とても楽しめました。来年もこのパーティーに、参加したいなと思いました。



上田真央
小学校3年生



上田望央
保育園年長クラス



平成28年度来新のALT紹介

昨年の7~8月に3名、今年の1月に1名のALTが来新されましたので紹介します。今回は、好きな日本語とその理由をインタビューしました。



Dylan Wyld
(ディラン ワイルド)

カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州出身

好きな言葉: すみません

理由: 日本に初めて来て一番多く使った言葉です。日本ではどんな場面でも使える言葉だと思うからです。



Hersha Guron
(ハーシャ グロン)

アメリカ、ミネソタ州出身

好きな言葉: 凸凹(でこぼこ)

理由: 言っても面白いし、見た目も面白いからです。



Jack Shee
(ジャック シー)

カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州出身

好きな言葉: 大盛り

理由: 私は新見のレストランで食事をするのが大好きです。たくさん食べるので、すぐにこの言葉を覚えたからです。



Johnny Foster
(ジョニー フォスター)

イギリス、サウサンプトン出身

好きな言葉: 諦める

理由: 大学の図書館で勉強していたときに、突然私に突撃して来る雄羊(スペインの闘牛のようなイメージ)が頭に浮かんだのです。諦めるの「あき」は、スペイン語で「ここ」という意味です。雄羊は英語で「RAM」です。このことが頭によぎった時、図書館でくすくす笑い出してしまい、止まりませんでした。

国際交流ふれあいデイ を開催

平成29年3月12日、憩いとふれあいの公園で国際交流ふれあいデイを開催し、市民や市内で働いている外国人など112名(うち外国人52名)が参加し、グラウンドゴルフを通して交流しました。外国人の方は、初めてグラウンドゴルフをする方がほとんどで、グラウンドゴルフ協会の方に、ボールの打ち方などを教わり、最初は「難しい!」と苦戦している様子でしたが、プレイをするうちにコツをつかみ、初めての体験を楽しんでいるようでした。



競技終了後は新見市婦人連合協議会の皆さんに用意していただいた炊きたてのおこわやおにぎりを食べながら会話を弾ませました。
(事務局)